買い物から始まる、地域とのつながり

地域の社会資源として

昨今、全国的に人口減少や少子高齢化等を背景とした流通機能や交通網の弱体化などの多様な理由により、日常の買い物機会が十分に提供されない状況に置かれている人々、いわゆる「買い物弱者」への対策が必要となっています。

こうした状況に対応するため、町では、移動販売事業を水郷つくば農業協同組合に委託し、令和2年1月より、日常の買い物にお困りの方などを支援する「移動販売　福の助商店」の運行を開始しました。

また、8月からは、移動販売車を軽トラックから冷蔵・冷凍庫付きの1.5トン車にリニューアルし、約150種類の商品を販売しています。

販売拠点は、10月から馬場地区「柳田國男記念公苑駐車場」と白鷺の街地区「第二公園」を加えた、全32カ所を4グループに編成し、1日8カ所を巡回しています。運行スケジュールについては、各カ所の販売拠点に月2回巡回し、約30分程度販売を行っています。

地区によっては、多くの方が、「福の助商店」を楽しみに待っていてくださり、少しづつ地域の社会資源として認識されてきています。また、ご近所さんや販売スタッフとの会話も弾み、地域との「つながり」も出てきています。

移動販売　福の助商店
イメージキャラクター「福の助くん」

シリーズ　まち・ひと・しごと　＃31　移動販売「福の助商店」

福の助商店のココに注目！

①約150種類の商品を販売

地元農家の新鮮野菜のほか、JA利根直売所のお惣菜、魚類、精肉、冷凍食品、豆腐、納豆、お米、調味料、日用雑貨品など、日常生活に必要な約150種類の商品を豊富に取り扱っています。

②「とねりん音頭」と共に各地区を巡回

おなじみの「とねりん音頭」を鳴り響かせながら、各地区を巡ります。とねりん音頭とアナウンスが聞こえたら「福の助商店」販売の合図です。

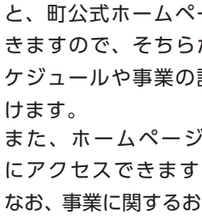
③可愛いデザイン

運営主体である役場福祉課高齢介護係の担当職員が、移動販売に親しみを持ってもらえるよう「福の助商店」のイメージキャラクター「福の助くん」を考案したほか、可愛くデザインされた移動販売車や荷台の暖簾、のぼり旗やチラシのデザインをしました。

お買い物の際には、車両や暖簾などの親しみやすく可愛いデザインにも注目してみてください。

1．買い物のあと会話が弾むお客さんと販売スタッフの石橋さん。お客さんにとってスタッフとのお話も楽しみの一つとなっているようです　2．3．福の助商店での買い物の様子　4．新鮮な野菜と食料品など　5．冷蔵・冷凍コーナーでは、お魚やお肉などを販売

福の助商店を利用されている方の声



（左）大竹さん
（右）青柳さん

ご近所さんを誘ってお買い物

家の近所まで来てくれて、ほしい商品を購入できるので、毎回利用しています。
（大竹さん）
大竹さんに誘われて来ました。近所で買い物ができるのはありがたいです。（青柳さん）

柴田さん

移動販売は助かります

車の運転ができないので、毎回利用させてもらっています。生活の中で足りないものを補うことができるから助かります。広報とねを見て運行スケジュールを毎回チェックしています（笑）

販売スタッフ

石橋達夫さん　芥川正樹さん

新鮮な野菜はもちろんのこと、町内の「鈴木鮮魚店」さんのお魚や「肉のながさわ」さん（木曜日のみ）のお肉も取り揃えています。

そのほか、取り扱っている商品であれば、可能な限りご要望に応じ、次回の運行時にご用意し販売いたしますので、気軽に声をかけてください。

みなさんのご来店お待ちしております。

運行などに関する問い合わせ（販売委託先）
水郷つくば農業協同組合　竜ケ崎地区本部
営農課　☎62-2211

福の助商店11月の運行スケジュールは、22ページに掲載しています。ご確認いただき、ぜひご利用ください。
右のQRコードを読み込んでいただくと、町公式ホームページにアクセスできますので、そちらからでも、運行スケジュールや事業の詳細をご覧いただけます。
また、ホームページから「福の助商店公式Twitter」にアクセスできます。フォローよろしくお願いします。
なお、事業に関するお問い合わせは下記までお願いします。

役場　福祉課　高齢介護係　☎68-2211（内線123）

近所で便利に楽しくお買い物。「福の助商店」をご利用の際には、お買い物袋をご持参ください